

研究小委員会活動報告

活動期間（H17～H19）

1) 国際交通ネットワーク戦略研究小委員会	小委員長 黒田勝彦
2) 社会基盤の政策マネジメント研究小委員会	小委員長 塚田幸広
3) 生活交通サービス研究小委員会	小委員長 喜多秀行
4) 土木計画のための態度行動変容研究小委員会	小委員長 藤井 聡
5) 物流の調査・モデル化・評価の方法論に関する研究小委員会	小委員長 谷口栄一
6) 防災計画研究小委員会	小委員長 村橋正武
7) リスクマネジメント研究小委員会	小委員長 小林潔司

活動期間（H18～H20）

8) 休日・観光交通研究小委員会	小委員長 西井和夫
9) 日本モビリティ・マネジメント実行委員会	小委員長 石田東生

活動期間（H19～H21）

10) 福祉の交通・地域計画研究小委員会	小委員長 新田保次
----------------------	-----------

関連小委員会活動

建設マネジメント委員会下の関連小委員会

11) インフラ P F I 研究小委員会	小委員長 宮本和明
-----------------------	-----------

技術推進機構下の関連小委員会

12) 実践的 I T S 研究小委員会	小委員長 内山久雄
----------------------	-----------

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	国際交通ネットワーク戦略研究小委員会
小委員長	黒田 勝彦 (神戸高専)
活動期間	平成 17 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	我が国およびアジア圏の経済活動を支える国際貨物・旅客の円滑な流動の実現に向けた、国際交通ネットワークの構築に関する諸問題の検討を学術面から行う
組織概要 (分科会構成等)	1) 戦略研究部会, 2) 個別研究部会 ①将来シナリオ・ライティング WG, ②国際交通の流動予測手法に関する WG, ③国際交通の政策評価手法に関する WG, ④国際交通データベース構築に関する WG, ⑤国際経済と政策動向に関する WG
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	1) 各 WG や WG 内書籍執筆担当者会議の開催 (WG 1 : 1 回, WG 2 : 2 回, WG 3 : 1 回, WG 4 : 3 回, WG 5 : 0 回) 2) 2 nd International Conference on Transport Logistics (2 nd T-LOG, 中国深セン市) への開催協力 (谷口委員会と共に日本の窓口) 3) 7 th EASTS Conference (中国大連市) における物流 IRG セッションへの開催協力 (2) と同様, 谷口委員会と共に日本の窓口), およびパネルディスカッションへの開催協力 (政策提言の素案提供)
今後の活動計画	【行事予定】(講習会, シンポジウム, ワンデイセミナーなど. ※行事名/開催時期/場所を記載) 1) 2008/3/10, 11 シームレスアジアの形成促進に向けたワークショップ (国土交通省国土計画局主催会議の共催予定, 東京) 2) 2008.8 月ごろ ワンデーセミナー開催 (予定) 3) 2008.10 月下旬 T-LOG/EASTS 物流 IRG セミナーの共催予定 (愛知県) 【出版予定】(※書籍名/出版時期/出版社等を記載) ・2008 年中に日本語書籍 (仮題: シームレスアジア時代の国際交通戦略) を出版予定 ・英語版書籍の出版についても検討中 【国際的活動の予定】 上記行事予定の 1), 3) や政策提言の立案を含め, EASTS の物流 IRG と連携した活動を今後も継続して実施する予定
小委員会 HP	小委員会自身の HP は特に開設していない. (参考) 2nd T-LOG http://www.tsinghua-logistics.com/conference/intro.htm 1st EASTS 物流 IRG セミナー http://www.tsinghua-logistics.com/conference/logistics_seminar.htm
その他・特記事項	特になし

※本表が 1 頁に収まるように作成ください. なお, 表内の行の加除は任意とします.

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	社会基盤の政策マネジメント研究小委員会
小委員長	塚田 幸広 (所属組織 国土交通省)
活動期間	平成 17 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	社会基盤施設に係る政策のマネジメントシステムに関する諸々の事項を対象に研究を行う。例えば、アウトカム指標のあり方、アウトカム指標にリンクした政策立案の具体的方法論、住民との協働型マネジメント、各種の新たな仕組みのモニタリング、研究トピックの抽出整理などを検討するとともに、取り組みや活動に関する広報、内外の他の関連学会との交流なども実施。
組織概要 (分科会構成等)	小委員会 48 名 (大学、行政、民間シンクタンク等から構成) 分科会等は設置なし。
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	○ ワンデーセミナー 49 「社会基盤の政策マネジメントー実践と展望ー」の開催 10 月 3 日 (10:00-17:00) に、土木学会講堂にて開催。セミナー用テキストを編纂。 83 名の参加者を得て、活発な議論が行われた。 ○ TRB 第 1 回パフォーマンスメジャーに関する国際会議に参画 米国アーバインで第 1 回国際会議 (第 3 回国内会議) が 9 月 10 日～12 日で開催。 準備委員会に参画するとともに、会議には 3 名の委員が「日本のマネジメントの現状」 に関して発表。参加者から大きな関心が示された。 ○ 英国道路庁との意見交換 11 月 16 日、土木学会会議室にて、英国道路庁 (Highways Agency) のマネジメント担当者来日の機会に小委員会メンバーとの意見交換を実施。 ○ プロGRESS レポート 2006 を発刊、配布 プロGRESS レポート 2005 に引き続き、1 年間の活動をレビューし、関係者に配布。
今後の活動計画	【行事予定】 (講習会、シンポジウム、ワンデーセミナーなど、※行事名/開催時期/場所を記載) 特に予定無し 【出版予定】 (※書籍名/出版時期/出版社等を記載) 小委員会の成果をベースに、平成 20 年度内を目途に執筆完了予定 (構成内容等詳細は今後検討)。出版の時期未定 【国際的活動の予定】 ・ TRB 等とは引き続き連携。1 月の TRB 年次総会における委員会にも参加予定。 ・ 英国の道路庁とも連携継続 【その他】
小委員会 HP	http://www.jsce-ip-pmcommittee.com/index.htm
その他・特記事項	本格的な小委員会は完了するが、出版を前提とした執筆、TRB 等とのパイプ、窓口を維持するためにも 1 年間程度フォローアップ活動を維持したい。当面、HP のメンテは継続。

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	生活交通サービス研究小委員会
小委員長	喜多秀行（神戸大学）
活動期間	平成 17 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	(1) 各地域における路線バス事業者，自治体，利用者の意識と動向に関する規制緩和前後の一定期間にわたる継続的な観測と分析 (2) 地域の特性に即した生活交通確保方策の策定を支援するための学術的・技術的基盤の整備 (3) バスサービスハンドブックとしてとりまとめた研究成果の普及と実務からのフィードバック
組織概要 (分科会構成等)	地域交通マスタープラン分科会，規制緩和分科会，運用管理分科会，市町村合併分科会
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	(1) バスサービスハンドブック講習会 ・名古屋（5 月 25 日） ・神戸（8 月 22 日） (2) 研究小委員会 ・今年度における小委員会のアウトプットと，次年度以降の活動の予定について検討した。（6 月 10 日） (3) 分科会 ・組織概要欄記載の分科会ごとに、研究会を開催した。
今後の活動計画	【行事予定】（講習会，シンポジウム，ワンデイセミナーなど。※行事名／開催時期／場所を記載） 平成 20 年 4 月頃：ワンティセミナー（場所未定） 【出版予定】（※書籍名／出版時期／出版社等を記載） 【国際的活動の予定】 【その他】
小委員会 HP	http://www.sse.tottori-u.ac.jp/hp-koukyou/index.php?Top
その他・特記事項	

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	土木計画のための態度行動変容研究小委員会
小委員長	藤井 聡 (所属組織：東京工業大学)
活動期間	平成 17 年 6 月 ～ 平成 20 年 6 月
委員会の活動趣旨	土木計画における「人々の態度と行動の変容を促す諸政策」のあり方についての基礎研究，実務研究を執り行う．
組織概要 (分科会構成等)	本研究小委員会は，モビリティ・マネジメント分科会，公共受容分科会，学校教育分科会，災害リスク分科会，景観分科会，行動科学分科会の 6 分科会から校正される．
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	・ 7 月 27 日，28 日，北海道札幌市にて開催された「第二回日本モビリティマネジメント会議」の開催支援 ・ 10 月 15 日，16 日，オランダ・ライデンにて開催された「Workshop of Voluntary Behavior Change」の開催支援 ・ 「モビリティ・マネジメント政策評価ガイドライン」の発行 ・ ウィキペディアにて「モビリティ・マネジメント」の項目の解説 ・ 土木学会主催の学校教育懇談会の開設準備
今後の活動計画	【行事予定】(講習会，シンポジウム，ワンデイセミナーなど．※行事名／開催時期／場所を記載) ・ 本研究小委員会とりまとめのワンデーセミナー「土木計画のための態度・行動変容研究」を，来年春を目処に開催． 【出版予定】(※書籍名／出版時期／出版社等を記載) ・ 特になし． 【国際的活動の予定】 ・ 来年 10 月に，ドイツにて，「第一回自発的行動変容研究国際会議」を開催を予定しており，その開催支援を行う． 【その他】
小委員会 HP	http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/ws/
その他・特記事項	

※本表が 1 頁に収まるように作成ください．なお，表内の行の加除は任意とします．

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	物流の調査・モデル化・評価の方法論に関する研究小委員会
小委員長	谷口 栄一（所属組織：京都大学大学院工学研究科）
活動期間	平成 17 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	主として都市圏、都市間の物流を研究対象とし、物流の調査・モデル化・評価の方法論に焦点を当てた研究を行う
組織概要 (分科会構成等)	物流の調査・モデル化・評価の方法論に関する研究小委員会（34 名）
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	前回春大会（福岡）以降平成 19 年 6 月 18 日，8 月 29 日，10 月 26 日の 3 回小委員会を開催した。それぞれの小委員会において、物流のモデル化，シミュレーション，評価手法について研究発表および議論を行った。具体的には、東南アジア地域における越境貨物交通のモデル化と改善施策の評価、成田空港周辺における貨物動向、共同配送、ミクロデータを用いた物流拠点配置などについて議論を行っている。また、平成 20 年 4 月に予定しているワンデーセミナーおよび出版についての議論を進めてきた。
今後の活動計画	【行事予定】 ワンデーセミナー／平成 20 年 4 月 14 日／土木学会講堂 【出版予定】（※書籍名／出版時期／出版社等を記載） 物流の調査、モデル化、評価について成果をまとめた本を出版予定／時期・出版社等は未定 【国際的活動の予定】 ・平成 20 年 1 月 8 日開催の BESTUFS II(Best Urban Freight Solutions II)セミナーに参加し、都市物流に関する国内外の解決策のベストプラクティスおよびその実施に関する課題について議論する ・平成 20 年度に開催の TLOG/EASTS-IRG セミナー，国際交通統計に関するワークショップのそれぞれに小委員会から参加予定 【その他】 なし
小委員会 HP	http://www.cisud.kiban.kuciv.kyoto-u.ac.jp/ （現在調整中につき閉鎖）
その他・特記事項	ワンデーセミナー及び出版，TLOG/EASTS-IRG セミナー，国際交通統計に関するワークショップの実施に鑑み，小委員会活動期間を平成 20 年度まで延期したく申請します。

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	防災計画研究小委員会
小委員長	村橋 正武 (所属組織：立命館大学)
活動期間	平成 17 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	平常時、並びに災害復興過程における社会経済システムを調査し、そこから得られる貴重な教訓やデータ・情報を分析し、防災対策に活かしていくための方法や手順等に関する総合的検討を行う。
組織概要 (分科会構成等)	①地域防災力研究グループ／②情報システム研究グループ／③防災都市計画研究グループ／④防災基礎論研究グループ
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	第 2 回防災計画研究発表会／2007 年 10 月 26 日(金)～27 日(土)／京都大学生存圏研究センター・木質ホール，京都市国際交流会館／発表件数：33 件，参加者：約 70 名
今後の活動計画	【行事予定】(講習会，シンポジウム，ワンデイセミナーなど。※行事名／開催時期／場所を記載) - 第 2 回防災計画ワークショップ／2007 年 12 月 10 日(月)～11 日(火)／新潟県小千谷市・川口町・長岡市他，長岡技術科学大学／Japan CASiFiCA，京大防災研共同研究集会との合同企画 - ワンデーセミナー「土木計画学分野における防災研究の今、そして、これから」 or 「防災実務における土木計画学への期待」／2008 年 5 月頃／未定／土木計画学における態度・行動変容研究小委員会 災害リスク分科会と防災計画研究小委員会 地域防災力研究グループの合同企画 - 第 3 回防災計画研究発表会／2008 年 10 月 24 日(金)～25 日(土)／京都大学生存圏研究センター・木質ホール 【出版予定】(※書籍名／出版時期／出版社等を記載) - 土木学会論文集での特集号／2007 年 12 月末を目途に論文収集中，2008 年 1～3 月頃企画提案予定 【国際的活動の予定】 - NEXUS-iDRiM と連携した活動 - CASiFiCA と連携した活動 【その他】
小委員会 HP	小委員会HP： http://www1.gifu-u.ac.jp/~ceip/iDRiM/bosai_index.htm 研究発表会HP： http://www1.gifu-u.ac.jp/~ceip/iDRiM/forum-index.htm
その他・特記事項	

※本表が 1 頁に収まるように作成ください。なお，表内の行の加除は任意とします。

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	リスクマネジメント研究小委員会
小委員長	小林 潔司 (京都大学経営管理大学院)
活動期間	平成 17 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	本委員会は、リスクマネジメントに興味を持って積極的に研究に取り組む研究者が積極的に研究活動を展開する場として立ち上げ、相互に情報交換を行うとともに成果を情報発信していくことを意図している。特に以下の点に焦点を当てている。 ①長期的視野でのリスクとそのマネジメント ②空間的特性を有するリスクとそのマネジメント ③リスクマネジメントとしての制度・契約設計
組織概要 (分科会構成等)	小委員長 小林潔司 (京都大学) 幹事長 上田孝行 (東京大学) 他 20 名のメンバーにより構成される。若手による自主的研究会を設置。
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	- 平成 19 年度計画学研究発表会・春大会にてスペシャルセッション「リスクとガバナンス」(発表 5 編)、「地方部の活性化とソーシャルキャピタル」(発表 11 編)を企画した。 - Workshop on Social Capital and Development Trends in Japan's and Sweden's Countryside in conjunct with World Conference of IGU/C 04.27, 平成 19 年 8 月 20-22 日 北見を企画した。(発表件数 20 件、うち海外 8 件) - 第 7 回リスクマネジメント研究小委員会を開催した。
今後の活動計画	【行事予定】(講習会, シンポジウム, ワンデイセミナーなど。※行事名/開催時期/場所を記載) - ワンデイセミナー「リスクとガバナンス」(仮) / 2008 年 5 月 / 京都 or 東京 - シンポジウム「ソーシャルキャピタルと地域活性化」(仮) / 2008 年 5 月 / 京都 【出版予定】(※書籍名/出版時期/出版社等を記載) 特になし 【国際的活動の予定】 - 上記シンポジウムには、欧米からの研究者も参加を予定している。 【その他】 - 土木学会論文集にて、スペシャルイシュー「土木計画学におけるガバナンス」を企画予定
小委員会 HP	設置なし
その他・特記事項	特になし

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	休日・観光交通研究小委員会
小委員長	西井和夫（流通科学大学）
活動期間	平成 18 年度 ～ 平成 20 年度
委員会の活動趣旨	休日・観光交通研究に関する包括的な調査研究な推進により、休日・観光交通に関する諸課題に的確に対応する調査—分析—予測評価の計画プロセスの体系化をはかるとともに、より実践的な調査分析手法の構築を目指す。
組織概要 (分科会構成等)	公募委員を含め、約 25 名の委員会メンバーから構成。分科会は設置しないで、研究小委員長、幹事長他数名からなるコアメンバーグループが活動方針・内容に関する素案を提示しながら全体の組織の活動運営にあたっている。
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	H19 年 6 月（春大会）： 研究小委員会を開催し、本年度実施の都市観光国際比較調査についての検討の進め方を協議し、そこで決定した以下のスケジュールに沿って活動することが確認された。 H19 年 7 月 小委員長が国際調査対象都市の一つの中国成都を来訪、西南交通大学に協力要請 H19 年 8 月～9 月 国際比較調査の企画／設計のためのコアグループを立ち上げ、3 回にわたるワーキング会議(8/3,8/27,9/6)を開催し、調査票設計／実施方法／経費を検討 H19 年 10 月～11 月 国際比較調査対象都市の中国北京(10 月)および韓国ソウル(11 月)に小委員長が来訪、北京工業大学、北京交通大学、KOTI,仁川大学等への協力要請と調査実施に関する打合せを行った。また、11 月上旬に日・韓・中の 3 カ国（4 都市）での入り込み調査を実施、11 月末より Web 調査を実施予定。 H19 年 11 月（秋大会）：研究小委員会開催予定
今後の活動計画	【行事予定】（講習会、シンポジウム、ワンデイセミナーなど。※行事名／開催時期／場所を記載） H19 年度中は国際調査のデータの集計作業があるために行事は予定していない。 H20 年度には、ワンデーセミナー（東京）、国際シンポ（神戸）で行う予定 【出版予定】（※書籍名／出版時期／出版社等を記載） 現時点ではない。国際共同セミナーや H20 年度末国際シンポ時に出版企画を予定。 【国際的活動の予定】 国際比較調査とそれに関連する共同研究プロジェクトとして、北京市休日交通調査研究および韓国仁川空港周辺整備調査研究の 2 つの国際的活動を行う予定であり、前者については、H20 年 9 月北京にて国際共同セミナーの開催を予定している。 【その他】特になし
小委員会 HP	

その他・特記 事項	
--------------	--

※本表が1頁に収まるように作成ください。なお、表内の行の加除は任意とします。

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	日本モビリティ・マネジメント実行委員会
小委員長	石田東生（所属組織：筑波大学）
活動期間	平成 18 年 6 月 より
委員会の活動趣旨	（社）土木学会と国土交通省が主催する「日本モビリティマネジメント会議」の運営を行う。
組織概要 (分科会構成等)	国土交通省（道路局，都市地域計画局，総合制作局）の課長・課長補佐，各地域の大学教員，各地域のコンサルタント等から構成される。
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	・ 7 月 27 日，28 日に北海道札幌市にて「第二回日本モビリティマネジメント会議」を開催した（発表件数＝61 件，参加者＝273 名）。 ・ 平成 19 年度の第一回の日本モビリティマネジメント会議 JCOMM 賞を設置し，JCOMM マネジメント賞，JCOMM 技術賞，JCOMM デザイン賞を授与した。 ・ JCOMM 通信（年四回発行）の定期発行
今後の活動計画	【行事予定】（講習会，シンポジウム，ワンデイセミナーなど。※行事名／開催時期／場所を記載） ・ 第三回日本モビリティマネジメント会議を京都にて開催予定 【出版予定】（※書籍名／出版時期／出版社等を記載） ・ 特になし。 【国際的活動の予定】 ・ 第三回 JCOMM にて，TRB の TDM 委員会の代表者を招聘予定。 【その他】
小委員会 HP	http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html
その他・特記事項	

※本表が 1 頁に収まるように作成ください。なお，表内の行の加除は任意とします。

福祉の交通・地域計画研究小委員会 報告

1. 小委員会の体制

代 表：新田保次（大阪大学）
副 代 表：磯部友彦（中部大学）、山田稔（茨城大学）、木村一裕（秋田大学）
幹 事 長：北川博巳（兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所）
幹事長補佐：大森宣暁（東京大学）
顧 問：三星昭宏（近畿大学）
委 員：48 名

2. 2007 年度上半期の活動（2007 年春大会以降）

(1) 「交通バリアフリー・グッドプラクティス集(仮称)」出版作業

国土交通省（総合政策局安心生活政策課）監修、

学芸出版社、2008 年 2 月発行予定

(2) シンポジウム「中部国際空港のユニバーサルデザインを考える」の後援

（主催：中部国際空港株式会社）

2007 年 10 月 21 日 中部国際空港 セントレアホールにて

(3) 「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー in 中四国」主催

（主催：倉敷市、福祉の交通・地域計画研究小委員会）

2007 年 10 月 31 日 倉敷市芸文館 大ホールにて

約 500 名参加

(4) 地域部会の立ち上げ

東北、関東、中部、関西

(5) 分科会立ち上げ準備

- 1) 福祉の地域計画分科会
- 2) 福祉の地域交通分科会
- 3) バリアフリー新法対応分科会
- 4) 観光ユニバーサルデザイン分科会

3. 2007 年度下半期の活動予定

- (1) 「交通バリアフリー・グッドプラクティス集(仮称)」出版
- (2) 春大会の企画部門での企画
- (3) セミナー・シンポジウム開催
- (4) 地域部会・分科会活動の軌道化
- (5) その他

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	インフラ PFI 研究小委員会
小委員長	宮本和明 (武蔵工業大学)
活動期間	平成 18 年度 ～ 平成 19 年度
委員会の活動趣旨	大規模インフラへの PFI の適用によって財政支出の削減等、大きな成果を挙げた先進諸国と異なり、わが国においては、ほとんどが相対的に事業規模の小さい建築施設を中心とした事業であり、インフラ整備事業への適用はほとんどない。 一方、PFI は、公共サービスを効率的かつ効果的に提供するために、その計画・整備・運営・維持管理・資金調達に係る工程や、これに携わるさまざまな主体のリスク分担や権利義務関係を、法務、財務、技術等の観点から適切にコーディネートすることが求められるため、高度かつ複合的な建設マネジメントに係る実務的あるいは学術的な課題を内在している。 そこで、インフラ整備事業における PFI 導入の可能性について、客観的な立場から検討を行うとともに、広く一般の議論を喚起し、社会にその活動を広報することを目的として 2001 年 6 月に設置。
組織概要 (分科会構成等)	リスクマネジメント部会 (主査：関西大学北詰恵一)、国際動向調査・研究部会 (主査：立命館大学有岡正樹) および課題分析部会 (主査：建設技術研究所渡会英明) の 3 部会で構成。各部会を月 1 回程度開催し、小委員会にてその活動を報告し、その内容を小委員会メンバーで共有するとともに、今後の活動の方向性を相談・確認・修正。
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	・ 6 月以降の小委員会および部会の活動は、8/29 開催の「2007 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会」の発表に関する検討が中心。小委員会の研究成果として、3 部会それぞれの研究成果を発表。 ・ 小委員会は、6 月以降、2 回開催：第 8 回 (6/22)、第 9 回 (9/7) ・ 第 8 回は成果発表会における各部会での発表内容に関する検討、第 9 回は発表内容の概要報告。
今後の活動計画	【行事予定】(講習会、シンポジウム、ワンデイセミナーなど。※行事名／開催時期／場所を記載) 特になし 【出版予定】(※書籍名／出版時期／出版社等を記載) 特になし 【国際的活動の予定】 特になし 【その他】 特になし
小委員会 HP	http://www.jsce.or.jp/committee/cmc/infra-pfi/
その他・特記事項	第 9 回開催以降、メンバーの多数が所属するゼネコン各社において対外的活動を自粛したことにより、活動が停滞。近日、再開予定。

※本表が 1 頁に収まるように作成ください。なお、表内の行の加除は任意とします。

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成 19 年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	実践的 ITS 研究小委員会(実践的 ITS 研究特別委員会)
小委員長	内山 久雄 (東京理科大学)
活動期間	平成 16 年度 ～ 平成 21 年度
委員会の活動趣旨	ITS の地域への展開に向けて、産官学が連携して実践的な研究を行う。
組織概要 (分科会構成等)	平成 19 年 10 月の公募・審査により 8 つのテーマと研究組織(研究者と実務者で構成)を選定し、これらを統括・管理するための戦略・連携推進部会(家田仁：東京大学)を設置している。
平成 19 年計画学研究発表会・春大会以降の活動報告	平成 19 年 10 月の国土交通省・首都高速道路(株)主催のスマートウェイ 2007 において、土木学会主催のシンポジウムを開催し、平成 16 年度から 3 箇年の活動成果を披露した。次期 2～3 箇年の研究公募を 10 月に技術推進機構が実施し、11 月の審査会において 8 つのテーマと組織を選定したところである。
今後の活動計画	【行事予定】(講習会、シンポジウム、ワンデイセミナーなど。※行事名／開催時期／場所を記載) 平成 19 年 12 月：第一回研究特別委員会(発足) 平成 20 年 4 月：第二回研究特別委員会(研究テーマの進捗状況の審査) 概ね 2 年後に成果公表のためのセミナーやシンポジウムを開催 【出版予定】(※書籍名／出版時期／出版社等を記載) 今後議論する 【国際的活動の予定】 成果の一部は ITS 世界会議等で精力的に公表するように依頼する
小委員会 HP	技術推進機構内に今年度中に公開
その他・特記事項	